

大学生を対象にしたスマートフォンユーザーの意識調査

申請中 東海大学 小泉 剛大 KOIZUMI Takehiro
01015460 東海大学 朝日 弓未 ASAHI Yumi

1. はじめに

近年のスマートフォンの保有率は、パソコンと比較して増加傾向にある。また、スマートフォンほどではないがタブレットも緩やかな増加傾向にある。このことからスマートフォンは、情報収集の必需品になってきている[1]。次に、国内と海外の OS(オペレーティングシステム)の利用率に違いがあるのか考察を行った。国内は、iOS の利用率が高く Android の利用率が低い。海外は、Android の利用率が高く、iOS の利用率が低い。また、国内より iOS や Android 以外の OS を利用していることが分かった。このことから、本研究の目的を「Android の利用率増加の要因を探ることとする。」[2]。端末別の強み・価格・種類について比較を行うために、金城ら[3]の結果を以下の表にまとめた。

表 1：端末別の強み・価格・種類

	iPhone	Android
強み	操作性に優れている	機能性に優れている
価格	価格が高い	価格が安い
種類	端末の種類が少ない	端末の種類が多い

iPhone は、音楽視聴・テレビ電話・音声操作などの操作性に優れており、価格が約 5 万円～約 12 万円である。端末の種類は、iPhone6. 7. 8 などの iPhone シリーズしかない。Android は、おサイフ機能・ワンセグ・SD カードの使用が可能であり、価格が約 5 千円～約 10 万円である。端末の種類は、Xperia・Galaxy・AQUOS などの多種類がある。国内での Android 利用率が低い原因は、端末が多すぎて何を選択すればよいかわからない。そこで、自分に合った Android 端末を紹介して利用率の増加を図ることにした。

本研究では、他の年代に比べて時間に余裕がある大学生を調査対象にして、情報端末を iPhone と Android に絞って調査を行った。

2. 調査概要

スマホユーザーがどのようなアプリ・機能および購入する際に重視する項目に差異があるのかを検証した。

調査の概要を表 2 に示す。

表 2：アンケート概要

調査概要	2018/10/10～2018/10/12
調査方法	ネット調査 (LINE で実施)
調査対象者数	大学生 75 名 (有効回答者数 72 名) 欠損値が 3 名検出されたため削除

調査内容としては、保有している台数・購入価格・よく利用している機能・アプリ・性別などの 11 個の設問を実施した。

3. 分析および提案で使用したデータを集計

本研究では、単数回答と 3 つまでの複数回答で調査を行った。「LINE 以外のよく使用する SNS は何ですか？」という設問に対して、Twitter・Instagram・Facebook・その他・それぞれ 51%・36%・12%・1% になった。「現在ご利用されているスマートフォンは何ですか？」という設問に対して、iPhone・Android の利用率がそれぞれ 60%・40%になった。

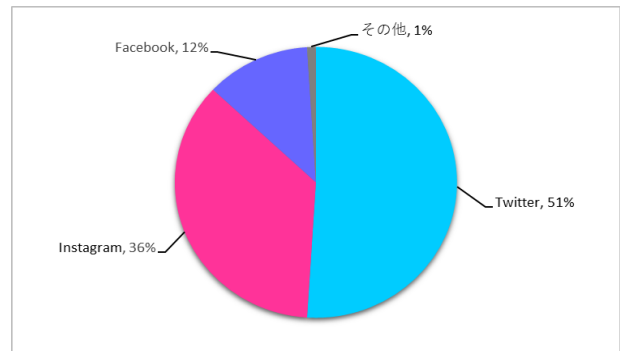


図 1：LINE 以外のよく使用する SNS

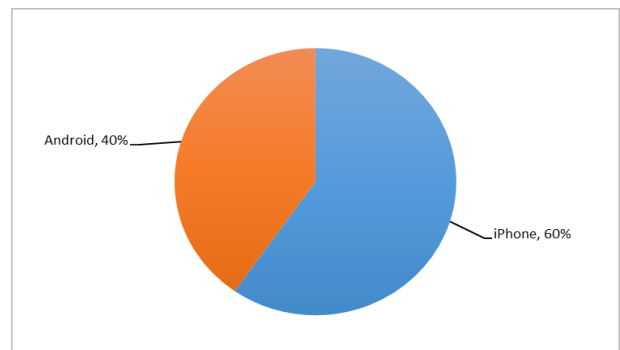


図 2：利用しているスマートフォン

次に、複数回答の集計を行った。「よく利用しているスマホ機能は何ですか？」という設問に対して、イ

インターネット・写真・動画撮影・時計・アラーム・音楽視聴の順に数が多かった。「スマートフォンを選ぶ際に何を重視しますか」という設問に対して、ブランド・デザイン（色）・反応速度・カメラの性能の順に数が多かった。

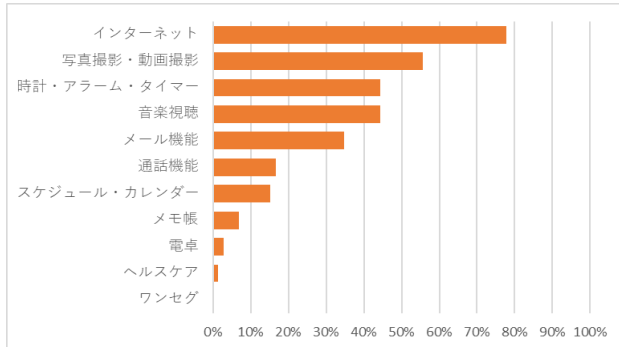


図3：よく利用しているスマホ機能

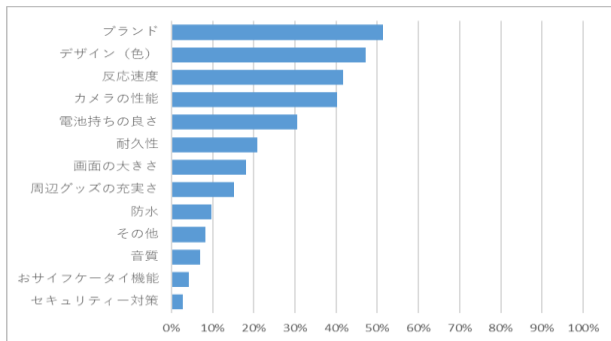


図4：スマートフォンを選ぶ際に重視する項目

4. 対応分析によるグルーピング

スマートフォンユーザーのグループ分けを行うために、「LINE 以外のよく使用する SNS は何ですか？」×「よく利用しているスマホ機能は何ですか？」という2つの設問を対応分析にかけた。対応分析の結果を図5に示す。また、集計と対応分析の結果から各グループがどのような特徴なのか解釈を行った。

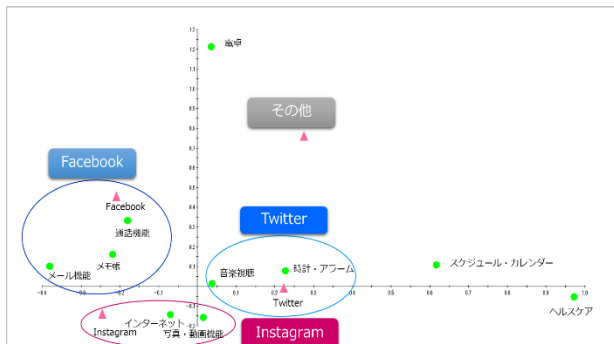


図5：対応分析の結果

➤ Facebook：通話機能・メモ帳・メール機能をよく利用していた。また、基礎集計でその他の割合が多く

中でも、ユーザービリティ、データ移行の手軽さを重視する人の数が多かった。このことから、基本操作を重視するタイプと解釈した。

➤ Instagram：インターネット・写真・動画機能をよく利用していた。また、基礎集計でカメラの性能を重視する人の数が多かった。このことから、画質を重視するタイプと解釈した。

➤ Twitter：音楽視聴・時計・アラームをよく利用していた。また、基礎集計で耐久性・防水を重視する人の数が多かった。このことから、多機能を重視するタイプと解釈した。

5. 考察と提案

集計と対応分析の結果からオススの Android 端末の紹介を行った。Facebook（基本操作を重視するタイプ）は、ユーザービリティ、データ移行の手軽さを重視するタイプであるため、LG it LGV36 が良いと考えた。Instagram（画質を重視するタイプ）は、カメラの性能を重視するタイプのため、Xperia XZ3 が良いと考えた。Twitter（多機能を重視するタイプ）は、耐久性・防水を重視するタイプのため、arrows NX F-01K が良いと考えた。

6. おわりに

本研究の集計および分析結果から国内のスマートフォンユーザーは、ブランドやデザインや操作性を重視している傾向があると判明した。Android の利用率を向上させるためには、機能性よりもデザインやスマートフォンの使いやすさに力を入れていくべきだと感じた。今後は、調査対象範囲を増やし Android 端末を購入する際に、「どのようなものを関連して購入しているのか？」「どのようなアプリを利用しているのか？」と言った Android ユーザーのより具体的な内容を調査していきたい。

参考文献

[1] 総務省数字で見たスマホの爆発的普及
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc111110.html>（最終閲覧日：2018/9/28）

[2] 国内・世界の iOS・android の利用率について
<http://gs.statcounter.com/os-market-share/mobile/>（最終閲覧日：2018/9/30）

[3] 金城 敬太, 東邦 仁虎, 工藤 秀雄（2012）
 「スマートフォン以降に伴うユーザーの要求機能、利用コンテンツの変化 iPhone, Android, フィーチャーフォンのユーザー調査を通じて。」シンポジウムモバイル研究論文集 P. 53～P. 58